



2021年度 なごや環境大学 活動報告書(概要版)

2021・4 ~ 2022・3

発行/「なごや環境大学」実行委員会
発行年月/2022年5月

問い合わせ先/「なごや環境大学」実行委員会 事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階
(名古屋環境学習センター エコパルなごや内)
TEL・FAX 052-223-1223
Eメール/jimu@n-kd.jp
ウェブサイト <https://www.n-kd.jp>





はじめに



なごや環境大学は、分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民が「共に育つ（共育）」ことを目的とし、2005年に開学しました。現在では、持続可能な社会の担い手づくりの先進的事例として、広くその名を知られるようになりました。なごや環境大学の取り組みが全国的に評価されていることをうれしく思います。

これもひとえに、これまでご尽力いただいた関係者の皆様や市民の皆様のおかげであり、心より感謝します。

なごや環境大学では、国内外で幅広くご活躍されている造園家・ランドスケープアーキテクトの涌井史郎学長のもとで、様々な事業を検討・展開してまいりました。

2021年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、感染対策に留意しつつ、状況に応じて対面とオンライン開催を併用しながら、時流に沿った環境テーマを取り上げた講座を企画することができました。特に主催事業として実施した環境省、金融庁、地域企業の方を講師に迎えた国の環境白書を活用した講座や企業の先進的な取り組みを紹介するSDGsオンラインセミナーでは、多くの企業の方に参加いただき、様々な方に向け環境情報を発信し、理解を深めていただくことができました。

名古屋市では、「なごや環境学習プラン」を策定し、持続可能な社会の実現に向けた人づくり・人の輪づくりを環境面から推進していくための取り組みを進めています。このプランの中では、「分野や主体、世代を超えた学び合い」が重要なキーワードとして挙げられています。

分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民として「共に育つ（共育）」ことを目的とするなごや環境大学の果たすべき役割は益々高まっています。持続可能な社会の担い手づくりのためにも、引き続き様々な取り組みを進めてまいります。

今後とも、なごや環境大学を支えていただいている実行委員をはじめとする皆様のご支援とご協力をお願いします。

「なごや環境大学」実行委員会 名誉委員長
名古屋市長 河村 たかし

学長メッセージ

なごや環境大学学長の涌井史郎です。

我々にとって 2021 年とは、COVID-19 とのたたかいに明け暮れる一方で、人々の中で SDGs という言葉が浸透し、一人一人が持続的な未来とはどうあるべきか考えるきっかけを与えてくれた 1 年でありました。

国内ではワクチン接種が進みつつもコロナ禍収束の兆しが見えない中、「with コロナ」、「ニューノーマル（新常态）」といった言葉が出てきていますが、それは経済的繁栄を人類の目標にしてきた文明が招いたプラネタリー・バウンダリーへの近接という現実を気候変動などで体感させられ、改めて自然と共生する姿勢の重要性を、コロナ禍が警鐘的に我々に突きつけたと受け止めているからでしょう。

世界史を振り返ってみますと、古くは古代ローマ帝国の五賢帝による繁栄を崩壊させた天然痘をはじめ、13 世紀のモンゴルの西進を契機としたヨーロッパでのペストの流行は、中世の教会支配を終焉させ、ルネサンスや宗教改革の萌芽となり、さらには 19 世紀のアジアからヨーロッパに広まったコレラの流行による公衆衛生の確立、労働者権利保護の流れなど、パンデミックが歴史を変換させてきた事実がございます。

今回のコロナ禍は、我々が SDGs の考え方を踏まえ、ドラスティックに行動変容を実現するためのチャンスだと思います。これまでの人間が地球上の生物の頂点だという身勝手な思い込みから、他の生物を軽視してきた「エゴロジー」という考えを改めるタイミングではないでしょうか。

我々の日常が自然の生態系サービスに支えられていることを改めて再確認し、地球環境、動植物、人類が共に共生する「エコロジー」の大切さを認識する必要があると私は考えます。



なごや環境大学の取り組みは、様々な立場を越えて協働で運営し、問題意識をもって皆さんが学び合うネットワークであり、今日の社会情勢の下、その意義が改めて問い直されていると言えます。

今後も『環境の取り組みは名古屋に学べ』と言われるよう、外側から学び合いのネットワークを支えてまいりますので、引き続き、なごや環境大学に格別のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「なごや環境大学」学長
涌井 史郎

なごや環境大学って何？

市民 / 市民団体(NPO/NGO)・企業・教育機関・行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄って学び合うネットワークです。

子どもから大人まで、どなたでも参加できます。

目的

「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目的としています。

入学資格

〈エコ・ゴコロ〉だけです。

環境に関心のある、すべての人を歓迎します。子どもから大人まで、「環境問題はむずかしそうだ」という人も、「活動の輪を広げたい」という人も参加できます。

内容

協働による講座・ゼミナールなどの運営

学ぶ！講座に参加する

楽しみながら学べる講座を多数ご用意しています。



動かす！ゼミナールで活動する

「なごやをもっとエコに！」と、さまざまな団体が活躍中！仲間と一緒に、新しいことにチャレンジしてみませんか？



発信する！企画・運営する

あなたも、何か企画してみませんか？毎年6月と11月に講座・ゼミナール（ゼミナールは11月のみ）の募集を行っています。初心者の方も、歓迎です。

※これまでの募集要項は常時ウェブサイトでご覧いただけます。

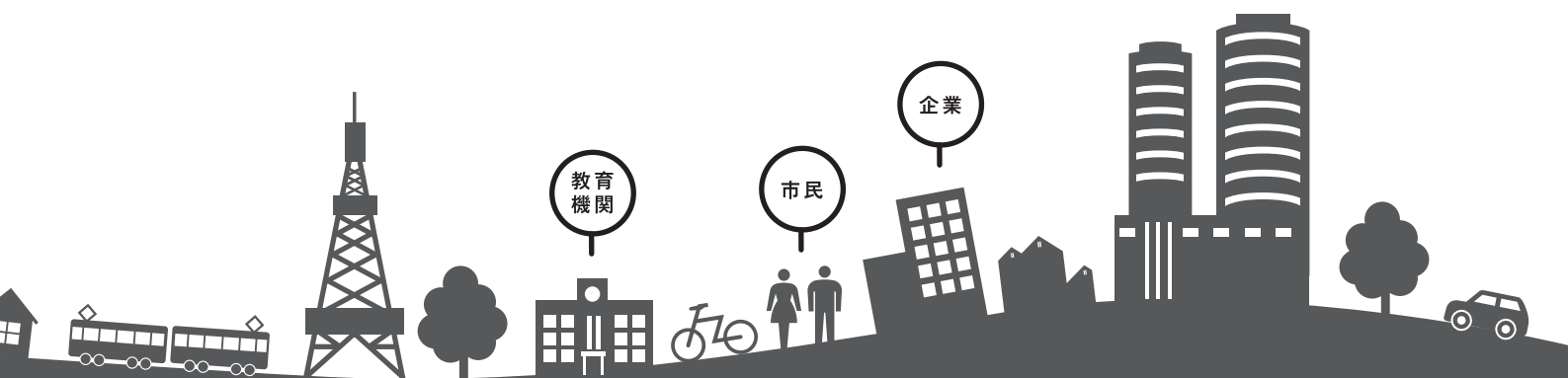


つながるエコ ひろがるハッピー！

まちじゅうがキャンパス

里山や水辺…教室や工場も…どこでも実施！

詳しくはHPをチェック！ <https://www.n-kd.jp/>



ネットワークづくり

ひととひと、団体と企業、行政や教育機関などそれぞれの得意分野や持ち味を活かし、大きな成功へと導く関係づくりを行います。

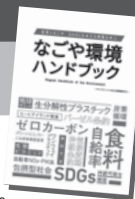
また、市民参画のプロジェクトによって、ひととひとをつなぎ、ムーブメントをつくりだします。異なる分野のひとの出会いの場を提供し、ひとの輪を広げます。

情報発信

多種多様な講座を紹介したガイドブックを年2回発行しています。

また、地球環境から身近な環境まで分かりやすくまとめた「なごや環境ハンドブック」を発行しています。

たくさんのひとが利用するソーシャルメディアやホームページ、大勢のひとが集うイベントなどを通じて誰もが参加、参画できる情報を発信しています。



サポート／コーディネート

ネットワークを活かし、企業や行政、教育機関などのESD^{※1}活動（学習プログラム・研修プログラム・CSR^{※2}プログラム）の支援、関連団体などとの橋渡しを行います。

※1 ESD=Education for Sustainable Development の略 持続可能な社会を支える担い手づくり

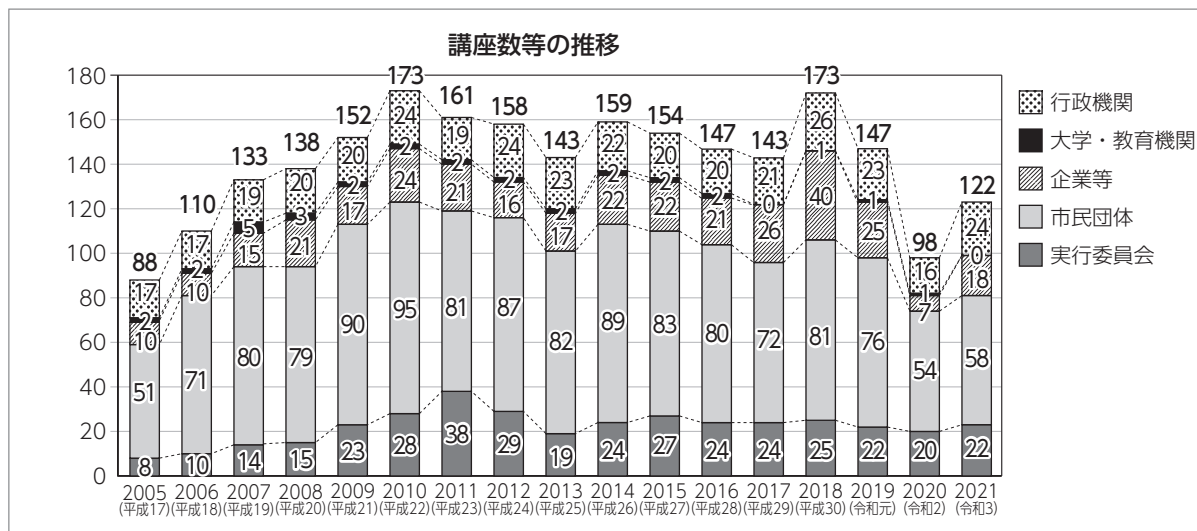
※2 CSR=Corporate Social Responsibility の略 企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動

なごや環境大学 開学以降の講座等実績の推移と 2022 年度への展望

■講座等実績の推移

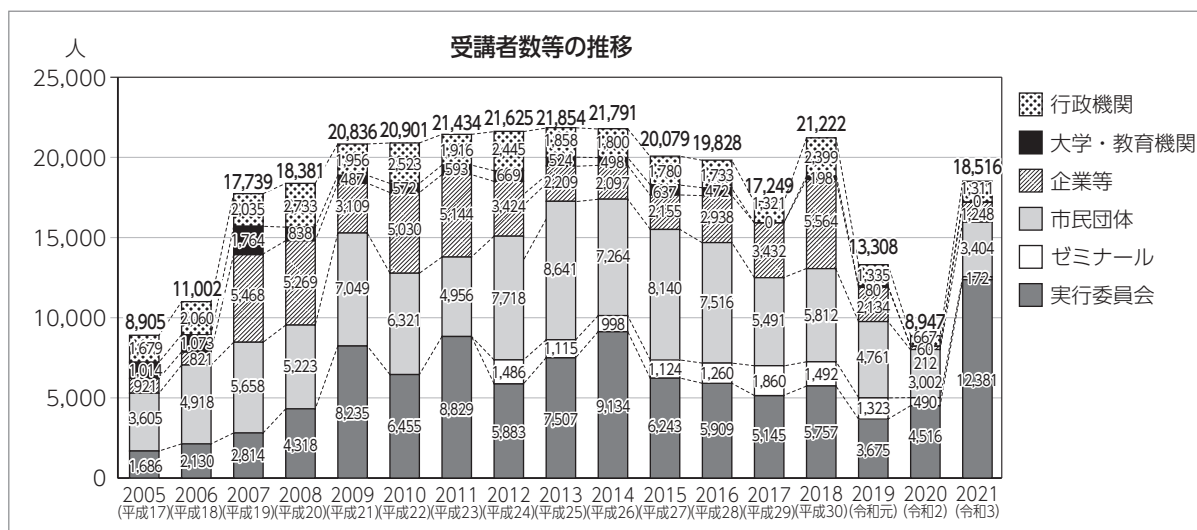
1. 講座数の推移

「なごや環境大学」実行委員会および各企画団体が実施した 2021 年度の講座数は 122 講座でした。新型コロナウイルスの感染対策をとったうえで講座を企画しており、前年度を上回ったものの緊急事態宣言の継続により中止・延期に至った講座もありました。



2. 受講者数等の推移

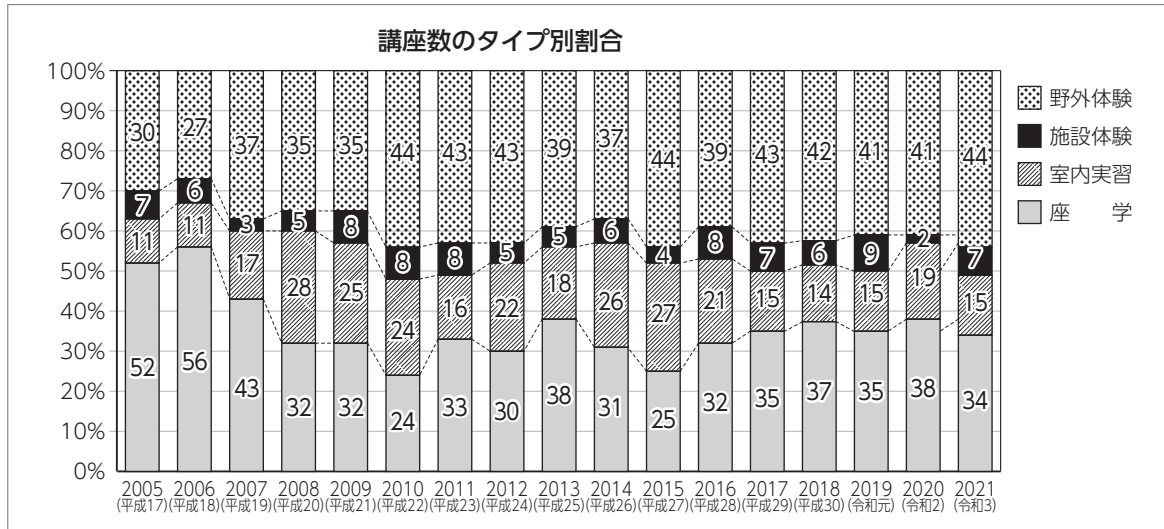
2021 年度の受講者数は SDGs 未来創造クラブの創設により昨年度に比べ大幅に増加しました。企画団体の内訳では、実行委員会が 12,000 人以上と、SDGs 未来創造クラブの取り組みが新たな受講者の拡大につながりました。



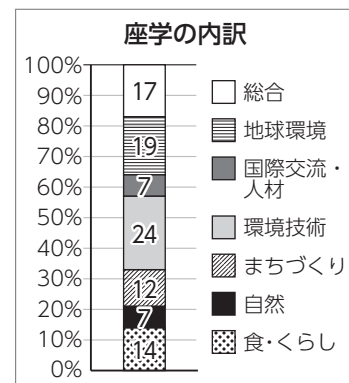
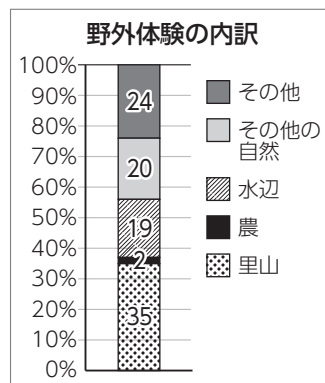


3. 講座タイプ別割合の推移

開学当初は座学が5割以上を占めていましたが、現在では座学が3割台となっています。また、野外体験、施設体験、屋内実習などの「体験・実習型講座」が6割台と講座のタイプが多様化しています。



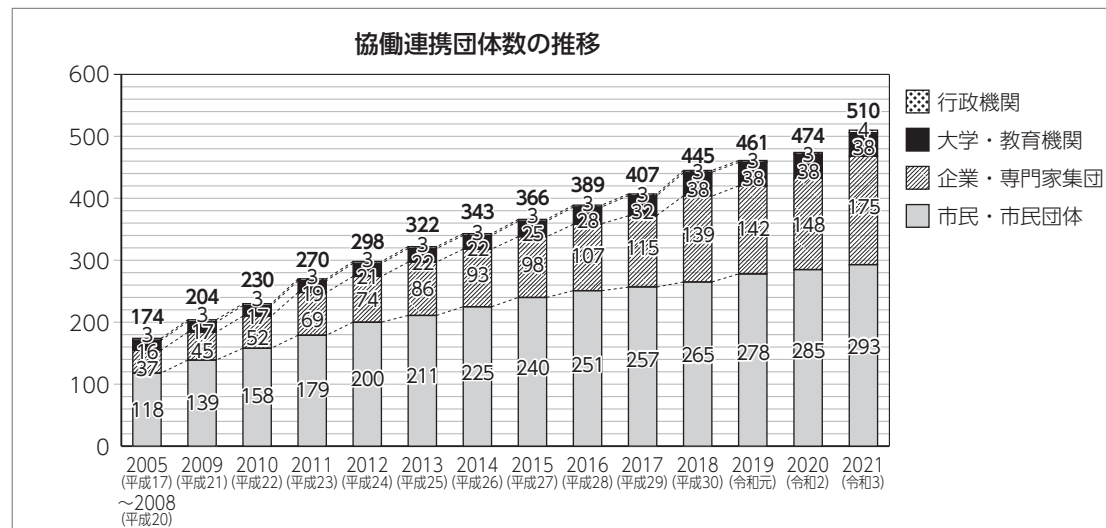
2021年度の講座タイプ別割合で、野外体験44%と座学34%で8割ほど占めています。野外体験の内訳は、里山や農、水辺、その他の自然など、多岐にわたります。座学の内訳も、食・暮らし、自然、まちづくり、環境技術、国際交流・人材、地球環境と広範囲です。



4. なごや環境大学を支える仲間たちの推移（累計）

なごや環境大学を支える講座企画団体や協働連携団体の累計は、2021年度で510団体となり、開学当時の2倍以上になりました。毎年20前後の新しい団体が増えています。

なごや環境大学は多くの仲間たちによって支えられています。



■なごや環境大学 2021 年度の振り返りと次年度への展望

～なごや環境大学受講生および
講座主催団体へのアンケート調査結果から～

事務局次長 小出 恭司

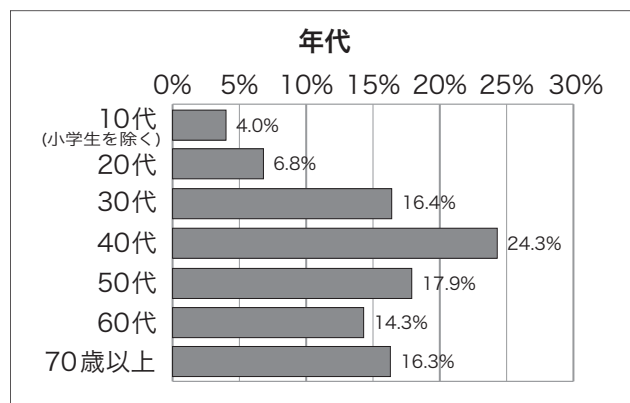
2021 年度に実施した各種講座および小学生向け講座の受講者、講座企画者を対象としたアンケート結果から、なごや環境大学の活動の振り返りを行いました。

1. 各種講座受講者に関する分析結果

今年度実施した講座の受講者の中から、小学生を除いて延べ 3,255 名のアンケート回答をいただきました。なお、それぞれの設問は、有効回答のみを集計しています。

●年齢

受講者の年代は「40 代」が 24.3% と最も高く、次いで「50 代」が 17.9%、「30 代」が 16.4%、「70 代以上」が 16.3% でした。「小学生を除く 10 代」4.0%、「20 代」6.8% と若い世代の比率が低くなっています。昨年度同様、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響から社会人向けオンラインセミナーを連続して開催したことで、30 代、40 代、50 代の参加率が高い傾向が続いていると考えられます。今後も未来を担う 20 代を中心とした若い世代の興味・関心を探りつつ、環境課題に参画できるような事業を検討していきたいと思えます。



●在住・在勤地

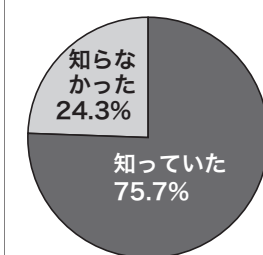
受講者の在住・在勤地は名古屋市内 59.4%、愛知県内を含めると 88.2% でした。また、県外在住・在勤の割合は昨年度からのオンライン開催講座の継続により 11.8% となっています。

●認知度と受講経験

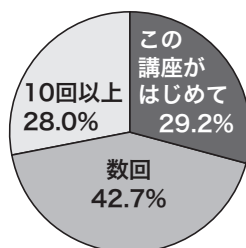
なごや環境大学の認知度について、受講者の 24.3% が「知らなかった」と回答していました。この比率は 2020 年度と比較して 0.5 ポイントの増加で、新規受講者である「初めて受講した」方は 29.3% と、2020 年度に引き続き 3 割近くとなり、新規層への広がりが感じられる結果となりました。

この結果は、今までのリピーターである受講者が参加していた講座はコロナ禍の制限で定員を減らして実施している状況が続く一方で、逆にオンライン開催によって今までにない受講者が増加しているため比率に反映されているものと思われる。今後は、講座の開催形態が従来の対面だけでなく、オンラインによる開催など多様な展開が継続されていきます。そのことを踏まえ、若者を中心とした新規受講者にも参加しやすく、リピーターとして継続して参加したくなる、参加しやすい講座の開設などに取り組む必要があると考えられます。

なごや環境大学の認知度

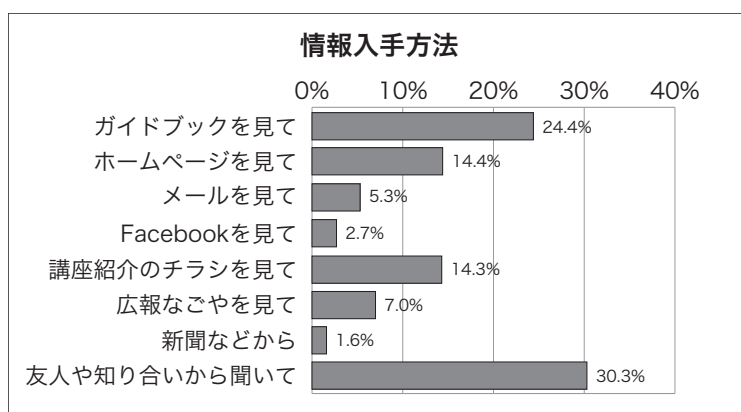


講座への参加回数



●情報入手方法

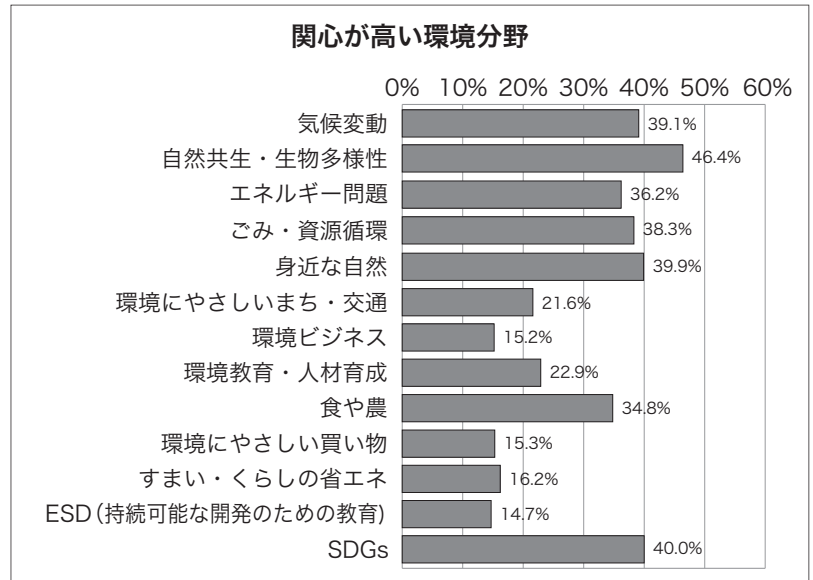
講座情報の入手については、「友人や知り合いから聞いて」という口コミが 30.3%、「なごや環境大学のガイドブック」を見て知った割合が 24.4%、合わせて全体の 5 割を超えています。ガイドブックについては昨年の 21.0% から 3.4 ポイント増加していますが、「ホームページを見て」という回答が 2020 年度の 16.2% から 14.4%、「メールを見て」が 7.2% から 5.3%、「facebook を見て」が 5.7% から 2.7% とそれぞれ減少しています。これは新型コロナウイルス感染症の拡大により、ソーシャルメ



ディアからの情報収集が増えたと考えられますが、情報量の豊富なガイドブックや知人の口コミは講座に参加を促す強力なツールであると改めて認識させられます。若い世代や新規受講者を増やすためにはウェブコンテンツについて内容構成をよりわかりやすく改善していく必要があり、今後はスマートフォンやタブレット端末などマルチメディア機器から手軽に入手できる情報の充実などに取り組んでいきたいと思ひます。

●関心が高い分野

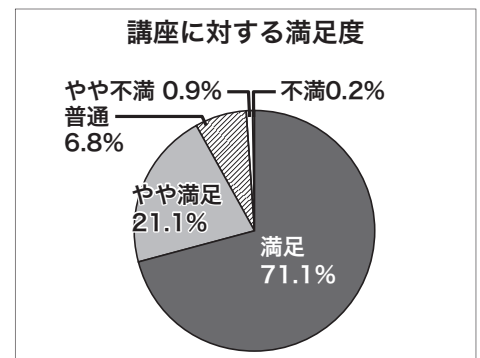
関心がある分野としては、「自然共生・生物多様性」、「SDGs」が4割以上と高く、次いで「身近な自然」、「気候変動」、「ごみ・資源循環」、「エネルギー問題」、「食や農」、がいずれも3割以上を占めていました。「自然共生・生物多様性」「身近な自然」「食や農」は常に関心が高い傾向がありますが、中でも「エネルギー問題」は特に19年度以降関心が高まっている傾向がみられ、また、「SDGs」に関してはアンケートに加えた20年度29.1%、21年度は40.0%と関心が大幅に高まっており、時流をとらえながら、受講者のみなさんのニーズに応えられるような取組を増やしていきたいと考えています。



●講座に対する満足度

講座に対する満足度は「満足」、「やや満足」を含めて92.2%と高い評価をいただきました。

今年度は、開催の形態がオンラインなど特殊な状況で主催団体にも工夫をお願いしていましたが、そのような状況も踏まえて、講座企画団体の皆様の努力や工夫が反映されたものと思ひます。

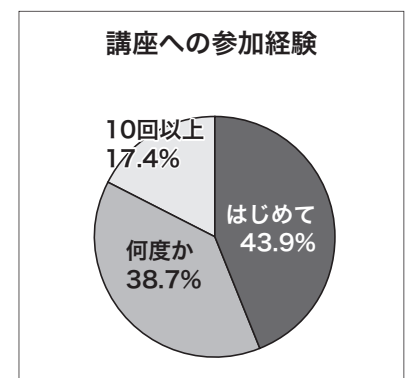


2. 小学生向け講座に関する分析結果

小学生の受講者440人に対するアンケートによると、受講者の92.7%が名古屋市内・愛知県内でした。初めて講座に参加した子どもが43.9%と0.8ポイント増加、同時に「何回か」、「10回以上」参加している子どもは合わせて56.1%と、半数以上がリピート参加していることがわかります。

講座の内容については、「楽しかった」と感じた子どもが全体の94.3%と非常に高いことが特徴的です。また、「また参加したいかな？」についても、○(したい)が92.1%、「わかりやすさ」についての評価も2020年度より0.2ポイント上昇しており、全体として子どもの参加者が講座に非常に満足して、また参加したいと思ひていることがわかります。

内容について	○	△	×
楽しかったかな？	94.3%	5.5%	0.2%
わかりやすかったかな？	88.5%	11.0%	0.5%
また参加したいかな？	92.1%	7.0%	0.9%



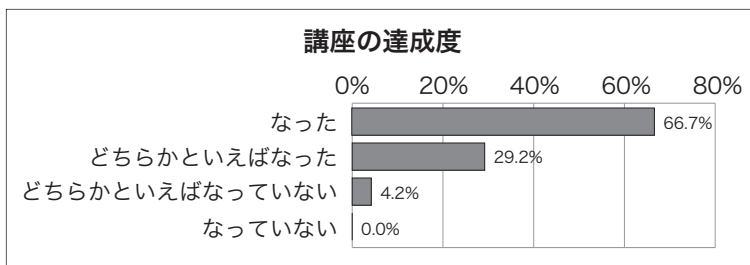
3. 講座主催団体に対するアンケートの分析結果

なごや環境大学の共育講座を企画運営していただいている市民団体や企業、行政などの講座企画者からのアンケート回答をいただきました。

●講座の達成度

講座の達成度については、企画団体の「なった」、「どちらかといえばなった」を含め 95.9%と、ほとんどの団体が主催者として講座全体に満足していただきました。

講座の企画内容や運営に制限があった中、このような結果が得られたことは、企画者の皆様の努力と参加者の意識の高さが現れているものと思います。



●講座の運営

講座の運営に関して、表に示した 9 項目について、それぞれ 4 段階で自己評価していただきました。「スタッフ数」、「講座の時間配分」、「内容」、「手法」、「会場」、「準備」の項目で「十分」との回答が 6 割を超えていますが、「広報」、「参加者の人数」、「収入と収支のバランス」が「十分」との回答は 3 割程度にとどまっています。

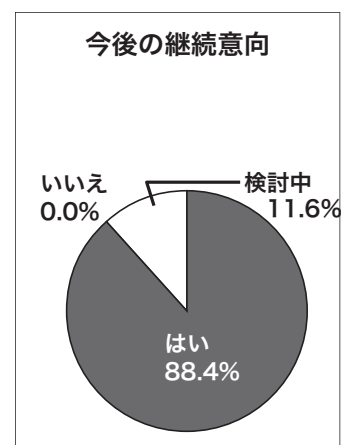
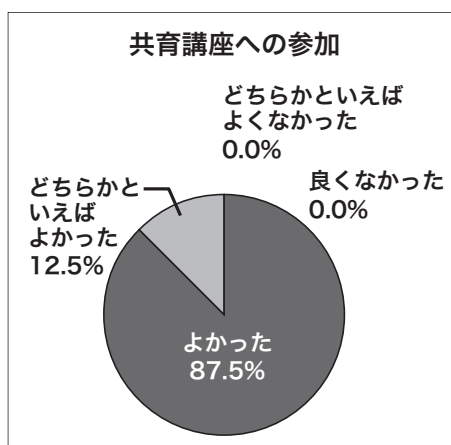
2019 年度からアンケートに「広報」、「参加者の人数」を項目に加えました。

この結果の低い 3 項目は、コロナ禍による影響が強く表れたものと思われる。ガイドブックの配布が十分にできなかったことや参加控えなどで参加者の人数が減少する傾向が伺えます。広報に力を入れるとともに、コロナ禍でも多くの人が参加できる方策を検討していき、今後よりいっそう、講座企画者が運営しやすくなるよう、事務局のサポートを続けていきたいと思っています。

	十分	ほぼ十分だった	少し足りなかった	足りなかった
①スタッフの人数	66.2%	21.6%	12.2%	0.0%
②講座の時間配分	64.5%	31.6%	3.9%	0.0%
③内容	80.0%	14.7%	5.3%	0.0%
④手法	69.3%	25.3%	5.3%	0.0%
⑤会場	75.7%	20.3%	4.1%	0.0%
⑥準備	66.2%	27.0%	6.8%	0.0%
⑦広報	34.7%	37.3%	26.7%	1.3%
⑧参加者の人数	36.0%	42.7%	21.3%	0.0%
⑨収入と収支のバランス	39.4%	31.8%	27.3%	1.5%

●講座の改善・今後の展望

共育講座という参画のしかたについては、100%の団体が「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答しており、このしくみが重要な意義を持っていることがわかります。また、今後の継続意向についても、88.4%の団体が継続したいと回答していました。



●まとめ

以上、2021 年度の各種アンケート結果の分析から、なごや環境大学が、NPO・市民活動団体、企業、行政、教育機関などと協働して役割分担している共育講座のしくみは、講座主催団体・受講者いずれからも概ね高い評価を得ていることがわかります。しかし同時に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による広報の展開の困難さや全体的な参加者数の減少、若い受講者の増加数の頭打ちが引き続き課題となっています。興味関心の高い SDGs やエネルギーに関する講座の充実やユース世代が参加しやすくなる内容・開催方法等の工夫など、受講者、講座企画者のニーズをしっかりと把握し、なごや環境大学の企画運営を進展させていきたいと考えています。



● 共育講座



名古屋市内および近隣地域をキャンパスとして、『共に学び合い』『育ち合う』環境講座を「共育講座」と表現し、展開しています。講座の企画・運営は、趣旨に賛同した市民 / 市民団体や企業、教育機関、そして行政などが行い、企画を持ち寄り、協働で運営しています。

2021 年度は、100 の講座を開催しました。（イベント等を除く）

各講座の詳細や団体情報については、なごや環境大学のウェブサイト内「アーカイブ」に掲載しています。

屋外（里山や水辺）も屋内（教室や工場）も「まちじゅうがキャンパス」です。座学、フィールドワーク、討論、ワークショップ、調査・研究など様々な講座を実施しました。

※ 2021 年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期・中止となる回も発生しました。

● 共育ゼミナール



『共育ゼミナール』は、開校以来進めてきた受講生を招く『共育講座』の発展の形として、2012 年度から開始しています。「行動しやすくなるしくみづくり」の一つとして、調査・研究、社会実験、提言とりまとめなどを行っています。2021 年度は、3 団体が年間を通じて活動しました。

団体名	なごや外来種を考える会
事業名	外来種を食べてみよう
活動の目的・概要	ザリガニ、ブラックバス、ウシガエルなどは自然生態系を荒らす迷惑な外来種ですが、食べてみると意外とおいしいです。食体験を通じて外来種の問題に触れてみましょう。
団体名	モノサシなごや（都市の自然のモノサシ研究会）
事業名	都市の自然のモノサシづくり
活動の目的・概要	都市にとって、「健康な植生活」って何？身近な自然と、どうつきあえばイイの？…そんなギモンやモヤモヤを、スッキリさせたい！
団体名	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画名古屋支社
事業名	堀川最上流の自然環境を調べる！
活動の目的・概要	堀川最上流部の水辺環境とそこに生息する動植物の状況把握を目的とします。水質調査のほか、魚類や爬虫類、貝類、水生昆虫などの水生動物、水草などを対象とした調査を実施します。

2021 年度

実行委員会主催事業・イベント出展の一覧

○野外体験 / □施設体験 / △屋内実習 / ●座学・鑑賞

■主催事業 ※オンラインでの参加含む

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
○	愛岐の里山たいけん隊 ～秋の里山にいこう！～	1回	20	協力：岐阜県多治見市諏訪町のみなさま、名古屋市愛岐処分場
●	環境白書から実践へ 2021 ～SDGs 17の目標その先へ！※	1回	212	共催：環境省中部地方環境事務所、愛知学院大学名城公園キャンパス地域連携センター
●	企業向け SDGs オンラインセミナー 「SDGs 実践企業から学ぶ」※	9回	743	
○	森イキ！プロジェクト 森を育む人づくり講座 in みたけ	9回	247	協力：NPO 法人 みたけ・500万人の木曽川水トラスト、名古屋国際中学・高等学校
●	昭和区まちづくりプロジェクト	7回	91	共催：昭和区役所
●	SDGs まちづくりプロジェクト in 錦二丁目キックオフセミナー※	1回	198	
●	「なごや環境ハンドブック」から考えるこれからのこと	3回	46	
●	からむしのこえ 映画会&トーク	1回	60	
○□△●	森イキ！プロジェクト 森林文化アカデミーと森を学ぶ→感じる	3回	41	協力：岐阜県立森林文化アカデミー、なごや森づくりパートナーシップ協議会
●	YouTu 部（仮）	7回	53	
○□△●	錦 2 丁目 SDGsWEEKs ※	—	1,394	共催：錦二丁目まちづくり協議会
○	森イキ！プロジェクト 猪高の森を歩いてみよう	3回	10	協力：名東自然倶楽部
△	アップサイクル・デザイン・ワークショップ+トーク	2回	26	共催：ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 後援：名古屋芸術大学



愛岐の里山たいけん隊



企業向け SDGs オンラインセミナー



みちにわマルシェ



森イキ！プロジェクト
森を育む人づくり講座 in みたけ



自治体ミーティング



What's NKD?
なごや環境大学ガイドブック表紙デザイン展



講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
○	みちにわ SDGs マルシェ	1回	2,500	共催：錦二丁目まちづくり協議会
●	SDGs 未来創造クラブシンポジウム 持続可能なまちの実現にむけて※	1回	110	共催：錦二丁目まちづくり協議会
○	SDGs 謎解きラリー in 伏見 ～2030からの挑戦状～	—	261	
○	なごや SDGs モバイルスタンプラリー	—	4,645	
●	環境と法	15回	1,050	共催：愛知学院大学
●	ビジネスプランニング入門	3回	150	共催：愛知淑徳大学
●	SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくり 自治体ミーティング 2021	2回	37	
△	What's NKD? なごや環境大学ガイドブック表紙デザイン展	1回	170	

■イベント出展、その他

講座種別	事業名	日にち	延人数	備考
△	名古屋市消費生活フェア 2021	11/13	158	主催：名古屋市
○	昭和区まちづくりプロジェクト (楽しく遊んで学ぼうさい！ at 川名公園)	11/13	12	共催：昭和区役所
○	昭和区まちづくりプロジェクト (自然いっぱい！～八事の森といっしょ～)	12/5	182	共催：昭和区役所



名古屋市消費生活フェア
2021

2021 年度連携講座一覧

連携講座は、なごや環境大学の趣旨にご賛同いただいた企業・団体等が実施する講座・イベントです。
2021 年度は 10 講座が開催されました。

	開催日	講座名	実施者
1	2021 年 5 月 14 日 (金) ～ 11 月 27 日 (日)	天白・もりのフォーラム事業 「天白・自然とふれあい隊！」	天白・森のフォーラム (天白区役所地域力推進室)
2	2021 年 6 月 12 日 (土)	ジャガイモ堀り ～たい肥を利用した土づくり 畑からの贈り物～	名古屋経済大学市邨高等学校科学研究部
3	2021 年 4 月 25 日 (日) ～ 10 月 24 日 (日)	なごや自然教室	名古屋自然観察会 (愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部)
4	2021 年 5 月 15 日 (土)	ふるさと親子自然観察会	名古屋自然観察会 (愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部)
5	2021 年 6 月 12 日 (土) ～ 2021 年 12 月 4 日 (土)	なごや森づくり講座	名古屋市緑政土木局緑地利活用課
6	2021 年 7 月 1 日 (木) ～ 2021 年 9 月 10 日 (金)	第 16 回環境絵画コンクール	パナソニックエコシステムズ株式会社
7	2021 年 11 月 13 日 (土) ・ 2021 年 12 月 12 日 (日)	エコツアー～渥美を学び、渥美を食べよう！	環境ボランティアサークル亀の子隊
8	2021 年 8 月 21 日 (土)	外来種を食べて減らそう	なごやの外来種を考える会
9	2021 年 8 月 8 日 (日)	トナリの学校	株式会社 大翻
10	2021 年 8 月 22 日 (日)	福江湾 ～弁財ヶ浜で干潟の生き物観察をしよう！	環境ボランティアサークル亀の子隊

(実施順)

共育講座・ ゼミナール一覧 2021年度(前期)

共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	14	Z-01	外来種 食べてみよう	なごや外来種を考える会	○		○	○	○
	15	Z-02	都市の自然のモノサシづくり	モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
	15	Z-03	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会・ 株式会社地域環境計画名古屋支社	○			○	○

(エネルギー・気候変動) ①低炭素	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	16	C-01	環境エネルギー塾 (オンライン限定講座)	中部電力株式会社				○	
	17	C-02	高速道路に架かる橋の秘密を知ろう！	中日本高速道路株式会社 名古屋支社	○	○			
	17	E-01	【公開講座】名古屋の空気は綺麗になったのか？	瑞穂生涯学習センター					○
	18	E-02	【公開講座】気候変動の歴史をさぐる	天白生涯学習センター	○	○	○	○	○

(生物多様性・気象・自然体験) ②自然共生	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	19	A-01	愛岐の里山たいけん隊～春の里山にこう！～	「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市愛岐処分場、名古屋市環境学習センター		○	○		
	19	B-01	昆虫食について知り、実際に食べてみよう！	愛知県昆虫食を考える会	○	○	○	○	○
	20	B-02	アンディ先生と一緒に遊ぼう！学ぼう！北欧の自然環境教育	森のムッレあいち	○	○			
	20	B-03	乳幼児脳育×自然あそび ecocorokids	乳幼児自然×脳育あそび ecocorokids	○				
	21	B-04	もりもり自然探検、大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
	21	B-05	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
	22	B-06	ビオトープと生物多様性 (ビオトープ管理士試験対策)	ビオトープ・ネットワーク中部			○	○	○
	23	B-07	動けない樹木たちのもつ驚きのしくみ と すごい戦略とは！？	森林インストラクター会「愛」	○	○	○	○	○
	23	B-08	山崎川の自然を知ろう！	山崎川グリーンマップ	○	○	○	○	○
	24	B-09	♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪	なごやネイチャーゲームの会	○	○	○	○	○
	25	B-10	りす山の自然学校：あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○	○	○
	26	B-11	渥美の磯で珍しい生き物を探そう！	環境ボランティアサークル亀の子隊	○	○	○	○	○
	26	B-12	夜の東山の森で虫たちを灯火採集！	なごやの生き物調査の会	○	○	○	○	○
	27	B-13	むささびっ子の森くらぶ	よりあい工房ばんどり	○				
	28	B-14	猪高緑地の溜池 (池干しの予備知識を得よう)	名東自然倶楽部			○	○	○
	28	B-15	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう！～	NPO法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
	29	B-16	美味しい！楽しい！美しい！魅力いっぱい親子森遊び	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
	29	B-17	110年の歴史を誇る鶴舞公園の巨大な「樹木」を調査してみよう！	鶴舞公園研究会 (ツル研)				○	○
	30	B-18	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
	30	B-19	みて きて かんじて！自然とあそぼうの会 2021 全集中！	NPO みのむしックス	○	○			○
	31	B-20	古墳と環境～地域の宝を考える。発見、保護、活用、継承～	環境カウンセラー岡本明子			○	○	○
	32	B-21	ネイチャーランニング森のなか、まちの中	りとららば	○	○	○	○	○
	32	B-22	山県市北部でまったり 2021 ～春・夏～	やまがたフットパス実行委員会	○	○	○	○	○
	33	B-23	レイチェル・カーソンの思いをつなぐ	レイチェル・カーソン日本協会 東海フォーラム	○	○	○	○	○
	33	C-03	なごや近郊の森 de セルフケア	prana			○	○	○
	34	C-04	第30回 環境フォーラム「水の未来予想図」	株式会社 エステム	○	○	○	○	○
	34	C-05	【植物の魅力】を体験しよう！	名古屋市民どりが丘公園	○	○	○	○	○
	35	C-06	田んぼ体験しよう！～昔ながらの農具を使って～	戸田川緑地管理センター	○	○	○	○	○
	36	C-07	なごやの建設屋さんエコアクションを体感しよう！	一般社団法人 名古屋建設業協会	○	○	○	○	○

市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。こどもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。 **講座番号 B**

企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。 **講座番号 C**

大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。 **講座番号 D**

生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に応じた内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。 **講座番号 E**

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	36	C-08	青空遊園〜川の魅力を親子で体験！〜	川ナビ歩こう会、株式会社地域環境計画名古屋支社	○	○	○	○	○
	37	C-09	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座	東邦ガス株式会社	○	○			
	37	C-10	夏休みの自由研究!! 〜蟹江町で自然観察しよう♪〜	株式会社 加藤建設	○				
	38	C-11	きみもブラネタリアン! 〜やってみよう、こどもブラネタリアム解説〜	アクティオ株式会社 名古屋営業所	○	○	○		
	38	E-03	めざせ!! 水の環境活〜学んでみよう、水のこと〜	名古屋環境局地域環境対策課 水質地盤係	○	○	○	○	○
	39	E-04	未来へつなぐ! 池干しで守る猪高緑地の生態系	名東生涯学習センター				○	○
	40	E-05	多様な生き物に出会おう! in 大高緑地	緑生涯学習センター	○				
	40	E-06	【徳川園共催】昆虫王国〜命きらめく都会のオアシス〜	東生涯学習センター	○				
	41	E-07	歩いて自然を体験! 公園・庭園の魅力	南生涯学習センター					○

③ 資源循環 (3R・ごみ問題・産業廃棄物)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	43	B-24	〜勿体ないを家庭から〜編む・織る・染める〜	手あみ生涯学習くろーぶ				○	○
	43	C-12	紙のリサイクル	愛知県古紙協同組合	○	○	○	○	○
	44	C-13	びん、缶、ペットボトルのリサイクル	愛知県再生資源団体連合会	○	○	○	○	○
	44	E-08	それはごみ?それとも資源?〜リサイクルの歴史と現状から学ぼう〜	北生涯学習センター					○

④ 健康安全 (食・くらし・防災・安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	45	B-25	防災自助共助・身に付けよう〜生き残ろう	名古屋みずほ 災害ボランティアネットワーク	○	○	○	○	○
	46	C-14	受講生と共にづくり、学びあう体験講座 〜17年連続開催中〜	株式会社山田組	○	○	○	○	○
	46	E-09	水の歴史資料館で学ぶ 名古屋の下水道と大雨・防災	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館		○	○	○	○

⑤ まちづくり (まちづくり・交通・水・コンパニオニティ)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	47	E-10	【公開講座】脱! ヒートアイランド! 〜国内外の都市緑化から〜	中生涯学習センター			○	○	○

⑥ 国際協力・多文化共生	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	48	B-26	環境先進国、脱ブラ先進国の地球にやさしい生活をネイティブから学ぶ	Eye Opener	○	○	○	○	○
	49	B-27	「食×国際交流」!世界の料理で環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	○
	49	B-28	楽しく学ぶフェアトレード (通常開催 / オンライン開催)	名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会	○	○	○	○	○

⑦ 人材育成・スキルアップ (人づくり)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	50	A-02	環境白書からSDGs実践へ2021 オンラインセミナー	「なごや環境大学」実行委員会、環境省					○
	51	A-03	企業向けSDGsオンラインセミナー SDGs実践企業から学ぶ	「なごや環境大学」実行委員会					○
	52	B-29	テクノロジーカフェ	公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会		○	○	○	○
	52	B-30	あなたも地球エコ防衛隊になろう!	地球エコ防衛隊	○	○	○	○	○
	53	B-31	ごきそテクノカフェ 〜オンラインでSDGsについて考えましょう〜	名古屋工業大学ごきそ技術士会			○	○	○
	54	B-32	都市近郊田で、無農薬のコメ作り、生きもの豊かな田んぼ作り	NPO法人日進野菜塾	○	○	○	○	○

共育講座・ ゼミナール一覧 2021年度（後期）

共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	16	Z-01	外来種 食べてみよう	なごや外来種を考える会	○		○	○	○
	17	Z-02	都市の自然のモノサシづくり	モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
	17	Z-03	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会・ 株式会社地域環境計画名古屋支社	○			○	○

SDGs×なごや	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	18	B-33	めざせ！サステナブルな暮らし 身近なところから実践しよう	Eye Opener	○	○	○	○	○
	19	B-34	社会と土木の「話の泉」	CE 技術の会				○	○
	19	B-35	今の自分の取り組み / 関心から SDGs のまちづくりへ（ワーク）	なごや環境サポーターネットワーク	○		○	○	○
	20	B-36	～勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～手あみの基礎学へます～	手あみ生涯学習くろーぶ3Rグループ				○	○
	20	C-15	名物カレーうどんの若鯨家が考えた持続可能な食品ロス対策	株式会社若鯨家			○	○	○

①低炭素！ (エネルギー・気候変動)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	21	C-16	けんせつのごと～ただいま、未来を建設中！～	戸田建設株式会社 名古屋支店	○	○	○	○	○
	22	E-11	なごや SDGs グリーンパートナーズ事業所から学ぶ SDGs と環境	名古屋環境局低炭素都市推進課					○

②自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	23	A-11	愛岐の里山たいけん隊～秋の里山にこう！～	「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市 愛岐処分場、名古屋市環境学習センター		○	○		
	23	B-37	北欧発！森の自然環境教育を英語で学んじよう！	森のムッレあいち	○				
	24	B-38	森で見つけ！自然と育むおやこの発見・創造プログラム	劇団森のパレット	○				
	24	B-39	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
	25	B-40	りす山の自然学校：あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○	○	○
	26	B-41	もりもり自然探検・大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
	26	B-42	削れ難く、保水力があり、歩き易いウッドチップ散策路を作ろう	名東自然倶楽部		○	○	○	○
	27	B-43	森からのプレゼントⅡ～猿投の森の恵みを丸ごと体験～	公益社団法人日本山岳会東海支部・ 猿投の森づくりの会	○	○	○	○	○
	27	B-44	干潟の学校～藤前干潟でいろ～んなことしましょ！～	NPO 法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
	28	B-45	冬眠前のカニにチャレンジ！	川ナビ歩こう会	○	○	○	○	○
	28	B-46	竹の伐り出しから！本格『門松』づくり～大人の自然工作～	NPO 東海自然学園					○
	29	B-47	ももなも耕せプロジェクト「いのこの畑で綿をつくらう！」	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも	○	○	○	○	○
	29	B-48	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
	30	B-49	ネイチャーランニング森のなか PLUS	りとらぼ	○	○	○	○	○
	30	B-50	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	○	○	○	○	○
	31	B-51	環境カウンセラーと行く セントレアまるとウォッチング 2021	環境カウンセラー岡本明子				○	○
	32	B-52	木曾川がもたらす生物多様性の恵みに感謝し、水源の森で学び、遊ぶ	NPO 法人 「みたち・500 万人の木曾川水トラスト」	○		○	○	○
	32	B-53	みて きいて かんじて！自然とあそぼうの会 (2021 年下半期)	NPO みのむしックス	○	○			○
	33	B-54	むささびっ子の森くらぶ	NPO チームばんどり	○				
	34	B-55	乳幼児脳育×自然あそび ecocorokids	乳幼児自然×脳育あそび ecocorokids	○				
	34	C-17	春休み特別企画 長谷川明子先生と学ぶ生物多様性・ビオトープ講座	東邦ガス株式会社			○		

市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。子どもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。 講座番号 B

企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。 講座番号 C

大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。 講座番号 D

生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に応じた内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。 講座番号 E

② 自然共生 (生物多様性・気象自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	35	C-18	なごや・近郊の森 de セルフケア&ナチュラルクラフト	prana (プラーナ)			○	○	○
	36	C-19	東谷山フルーツパークのネイチャー×カルチャー×サバイバル!	東谷山フルーツパーク	○				○
	37	C-20	バードウォッチングに挑戦!! ~蟹江町にやってくるカモを観察♪~	株式会社加藤建設	○				
	37	C-21	山県市北部でまったり 2021 ~秋・冬~	やまがたフットバス実行委員会	○	○	○	○	○
	38	E-12	干潟からこんには~貝から学ぶ生物多様性~	港生涯学習センター	○	○	○	○	○
	38	E-13	農から始める SDGs らいふ♪	昭和生涯学習センター					○
	39	E-14	めざせ!! 水の環境復活~学んでみよう、水のこと~	名古屋市長官庁地域環境対策課 水質地盤係	○	○	○	○	○
	39	E-15	植物を学び「生物多様性」について考えませんか~体験活動を通して~	中川生涯学習センター					○

③ 資源循環 (3R・ごみ問題・産業廃棄物)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	40	E-16	海洋プラスチックがもたらす危機~その原因と影響を探る~	中村生涯学習センター	○	○	○	○	○
	41	E-17	毎日の暮らしに工夫! ~身近で感じるエコチカラ~	イーブルなごや(名古屋市女性会館)	○	○	○	○	○
	41	E-18	大切なものを長く使いごみ減量を意識してみませんか	名古屋市環境局減量推進室	○	○	○	○	○

④ 健康安全 (食・くらし・防災・安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	42	B-56	親子向け防災体験講座	なかがわ災害ボランティアネットワーク	○	○			
	43	B-57	防災自助~生き残ろう! やれる備えはたくさんある!!	防災自助普及委員会	○	○	○	○	○
	43	B-58	公害問題は今...	レイチェル・カーソン日本協会 東海フォーラム			○	○	○
	44	E-19	水の歴史資料館で学ぶ 安心・安全な名古屋の水道	名古屋市上下水道局調査課 水の歴史資料館		○	○	○	○
	44	E-20	身近でできる SDGs ~「エシカル消費」をはじめませんか~	千種生涯学習センター	○	○	○	○	○
	45	E-21	オンラインでかんきょうラボ!	名古屋市環境科学調査センター				○	○

⑤ まちづくり (交通・水・防災・安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	46	E-22	きれいな水を未来へ~水環境の保全について学ぶ~	守山生涯学習センター					○
	47	E-23	交通と環境のつながり~名古屋の未来を考える~	西生涯学習センター				○	○

⑥ 国際協力・多文化共生	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	48	B-59	「食×国際交流」! 世界の料理で環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	
	49	B-60	国際協力とフェアトレードと環境	特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター (CDIC)			○	○	○

⑦ 人材育成・スキルアップ (人づくり)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	一般
	50	A-12	「なごや環境ハンドブック」から考えるこれからのこと	「なごや環境大学」実行委員会			○	○	○
	51	A-13	企業向け SDGs オンラインセミナー SDGs 実践企業から学ぶ	「なごや環境大学」実行委員会					○
	52	B-61	ごきそテクノカフェ ~オンラインで SDGs について考えましょう~	名古屋工業大学ごきそ技術士会	○		○	○	○
	53	B-62	テクノロジ-カフェ	公益社団法人日本技術士会中部本部・ 中部倫理委員会	○	○	○	○	○
	53	B-63	暮らしの中の SDGs、未来の地球を守ろう!	地球工コ防衛隊	○				○
	54	E-24	持続可能な社会のために~ SDGs と環境保全の取り組み~	熱田生涯学習センター					○

持続可能な社会づくり～SDGs 達成を目指して～

主催講座・主催事業

愛岐の里山たいけん隊～秋の里山にいこう！～

2021年11月13日(土) 20名参加 協力：岐阜県多治見市諏訪町のみなさま

【会場】愛岐処分場・エコパルなごや ●共催：愛岐処分場

岐阜県多治見市にある愛岐処分場内の自然豊かな里山で地元・諏訪町の方に教えてもらいながらサツマイモやサトイモ掘りなどの自然体験を行うとともに処分場職員の案内のもと施設や埋め立て地を見学して自分たちの生活と自然、処分場とのつながりを学びました。お昼は棚田でとれたお米を使った五平餅を食べたり、午後には近隣の愛岐トンネルを歩いたり、楽しみながら自然共生について考えました。



環境白書から SDGs 実践へ 2021 オンラインセミナー

2021年7月20日(火) 212名参加 【会場】オンライン

【講師】環境省 大臣官房環境計画課 計画官 岡村 幸代氏、山陽学園大学 地域マネジメント学部 教授 工学博士 白井 信雄氏

【ゲストスピーカー】講師：金融庁職員、(株式会社ウェイストボックス 代表取締役社長) 鈴木 修一郎氏、(加山興業株式会社 代表取締役社長) 加山 順一郎氏、(岩間造園株式会社 専務) 後藤 幸氏

●共催：環境省中部地方環境事務所、EPO 中部



環境省の開催している環境白書を読む会とジョイントし、「SDGsの実践」についてオンラインでの講演を行いました。さらに過去の参加者からの意見をもとに「ローカル SDGs」をキーワードにし、実践的で役立つ内容を、主に企業に向けて発信しました。

企業向け SDGs オンラインセミナー 「SDGs 実践企業から学ぶ」【前期・後期】

2021年5月28日(金)～2022年2月25日(金) 743名参加 【会場】オンライン

【2021 年前期講師】(株)マルワ 代表取締役社長 鳥原 久資氏、(株)山田組 取締役会長 山田 厚志氏、(イオンリテール)株東海カンパニー環境社会貢献 担当 村橋 知彩氏、(株)勤労食 専務取締役 浜崎 厚志 氏、(株)名古屋銀行経営企画部次長 広報グループ 小嶋 克明氏

【2021 年後期講師】(NPO 法人 M ブリッジキャリアコンサルタント / PR プランナー / SDGs アドバイザー) 米山 哲司氏、((一社)日本エシカル推進協議会 理事 / (株)エムシープランニング 代表取締役) 薄羽 美江氏、(株)大酬 代表取締役社長 後藤 裕一氏、(名古屋信用保証協会企画部 企画経理課長) 加藤 康博氏



企業が取り組める SDGs への取り組みや SDGs の活用によって広がる可能性について、前期・後期にわたり、「企業イメージの向上」、「社会の課題への対応」、「生存戦略」、「新たな事業機会の創出」、「経済からみた SDGs」の5つの視点から取り組んでいる企業を講師にお招きし、考え方や具体的な取り組みを講演いただきました。

SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくり 自治体ミーティング 2021

2021年4月23日(金)、2022年1月28日(金) 21自治体、36名

【会場】エコパルなごや／オンライン(ハイブリッド)

【講師】(なごや環境大学アドバイザーボード、日本福祉大学特任教授) 千頭 聡氏

【司会等】(なごや環境大学アドバイザーボード、NPO フィトラボ 代表) 松本 イズミ氏



SDGs 達成に向けた自治体枠を超えた広域的な取組みとして、大府市と滋賀県の先進的な取組の例を紹介いただき、愛知県内の自治体を中心に課題や取組を持ち寄り共有し、SDGs 推進と脱炭素をテーマに意見交換を図りました。

なごや環境大学の第4期ビジョンの柱の一つである「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」の提供を目指し、市民／市民団体、企業、教育機関、行政など多様な主体と協働して、講座やイベントを実施しました。SDGs 達成を意識して取り組んだ 2021 年度の環境大学の講座や事業をピックアップしてご紹介します。

「なごや環境ハンドブック」から考えるこれからのこと【全3回】

2021年12月4日(土)～2022年2月12日(土) 46名参加 【会場】エコパルなごや

【第一回講師】日本福祉大学 特任教授 千頭 聡氏

【第二回講師】なごや環境大学 事務局次長 小出 恭司氏

【第三回講師】なごや環境ハンドブック編集チーム 【司会等】松本 イズミ氏

作成中の『なごや環境ハンドブック』をテキストに、環境について広域的な視点や名古屋の地域に絞った課題や取組を紹介し、2050年の理想のなごや像を考えるワークショップを実施しました。



アップサイクル・デザイン・ワークショップ+トーク

2021年11月14日(日) 26名参加 【会場】長者町コットンビル

【講師】(Bouillon) 服部 隼弥氏・那須 裕樹氏、(株)モノファクトリー コンサルティング事業部 リマーケティング課 マネージャー) 河西 桃子氏

●共催：ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 ●後援：名古屋芸術大学

丸椅子をアップサイクルでつくりかえるワークショップとアップサイクルの現状と未来についてお話しいただきました。

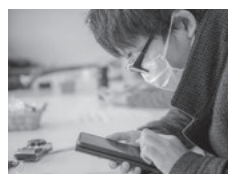


YouTu 部 (仮)【全7回】

2021年10月17日(日)～2022年3月20日(日) 53名参加

【会場】エコパルなごや、白川公園、鶴舞公園、戸田川緑地、フラリエ

【講師】株式会社フィルムガーデン、なごや環境大学アドバイザーボード 長谷川 明子氏、【第7回】近自然研究所所長 山脇 正俊氏



名古屋の「街なかにある自然」をテーマに、市内の特徴的な公園を撮影し、参加者の視点で名古屋の環境の特徴や課題を発信する動画を作成しました。最終回では都市の中の自然について講演会に合わせて、発表会を実施しました。

昭和区まちづくりプロジェクト～実践編～

2021年11月13日(土)、2021年12月5日(日) 他

【会場】昭和区川名公園、興正寺公園 共催：昭和区役所

高校生や大学生と「住み続けたいまち」となるために必要なことを考えるワークショップを2020年度に引き続き開催しました。区内に大規模公園がバランスよく配置されていることから公園をテーマに、区の魅力発信策を考え、2つの企画を実現しました。



からむしのこえ映画会&トーク

2021年10月9日(土) 60名参加 【会場】エコパルなごや

【講師】(明治大学准教授・哲学者・『からむしのこえ』協力者 鞍田 崇氏、信州大学准教授・人類学者・『からむしのこえ』監督 分藤 大翼氏

【司会等】「なごや環境大学」実行委員 山口 ゆずみ氏

福島県・昭和村で時代の変化に翻弄されながらも、守り継がれてきた布づくりの「いま」を伝えるドキュメンタリー映画『からむしのこえ』の上映会と、本映画関係者による伝統文化の継承と取り巻く環境、地方との関係、持続可能性とSDGsなど、これからのくらし方について語るトークを行いました。



What's NKD ? なごや環境大学ガイドブック表紙デザイン展

2022年3月18日(金)～20日(日)

【会場】ナディアパーク アトリウム

歴代のガイドブックコンペティション入選作品等となごや環境大学を紹介する展示を実施しました。



森林プロジェクト

森イキ！プロジェクト 森を育む人づくり講座 in みたけ【全 10 回】

2021 年 5 月 15 日（土）～ 2022 年 3 月 12 日（土） 226 名参加

【会場】岐阜県御嵩町 水源の森／町有林

【講師】NPO 法人みたけ・500 万人木曽川水トラスのみなさま

名古屋の飲料水を引く木曽川の上流域にある岐阜県御嵩町にて産廃処分場建設問題に端を発し、最終解決となった後も下流の名古屋と上流の御嵩町での水道料金の差に問題意識を持ち、森の整備・活動を続けている「NPO 法人みたけ・500 万人木曽川水トラス」さんと森の意義・大切さを知り、考える機会を設けるとともに、整備活動や保全に興味・関心を持ち参画する人づくりや継続的なつながりを広げる森林整備や森ならではの体験活動を実施しました。



森イキ！プロジェクト 森林文化アカデミーと森を学ぶ→感じる 【全 3 回】

2021 年 10 月 15 日（金）～ 2021 年 11 月 17 日（水） 41 名参加

【会場】小幡北コミュニティセンター・小幡緑地公園、古城山環境保全モデル林 古城山ふれあいの森、岐阜県立森林文化アカデミー

【講師】（森林文化アカデミー教授）柳沢 直氏、（NPO 法人グリーンウッドワーク協会理事長）小野 敦氏、（森林文化アカデミー 准教授）辻 充孝 氏

●共催：なごやの森づくりパートナーシップ連絡会／愛知守山自然の会

第 1 回は名古屋を含む伊勢湾周辺域に見られる「東海丘陵要素植物」について学び、マメナシの見られる小幡緑地公園を観察しました。第 2 回は生木を使った木工「グリーンウッドワーク」を材料の調達から体験し、第 3 回には日本初の「森の入り口」森林総合教育センター（morinos）の見学を通して森とのつながりについて学びました。



森イキ！プロジェクト 猪高の森を歩いてみよう！【全 3 回+α】

2021 年 10 月 23 日（土）～ 2022 年 2 月 15 日（火）

13 名参加 【会場】猪高緑地

●共催：名東自然倶楽部

大学近郊の森に入り、季節ごとの自然散策や池干し・竹林整備体験をすることで、都市の森で季節変化を感じ、森を維持していく大切さを学びました。



SDGs 未来創造クラブ

<まちづくりプロジェクト>

SDGs まちづくりプロジェクト in 錦二丁目キックオフセミナー 「SDGs でえがく まちと企業の未来」

2021 年 6 月 9 日 (水) 198 名参加 【会場】 オンライン

【講師】 株式会社武田工業所 取締役 曾根 香奈子氏

【司会等】 ディスカッションコーディネーター：日本福祉大学 特任教授 千頭 聡氏

まちづくりプロジェクトの取り組みを広く発信し、プロジェクトへ協力する企業・団体等の参画を促すため、企業が SDGs に取り組むことで広がる可能性を、事例を交えながら紹介するとともに、令和 3 年度に予定していた「まちづくりプロジェクト」の展開について説明するセミナーを開催しました。



錦 2 丁目 SDGs WEEKs

2021 年 11 月 6 日 (土) ～ 11 月 20 日 (土)

1,394 名参加 【会場】 錦二丁目の各会場

●共催：錦二丁目まちづくり協議会

地域・企業・団体が連携して SDGs に関するワークショップやセミナー、展示等、多彩なプログラムを約 2 週間にわたり展開し、まち全体での SDGs の取り組みの発信、啓発を行いました。



みちにわ SDGs マルシェ

2021 年 11 月 19 日 (金) (前夜祭)、20 日 (土) 2,500 名参加 (前夜祭を含む)

【会場】 長島町通 (7 番街区再開発地区と V ドラッグ錦二丁目店の間)

●共催：錦二丁目まちづくり協議会

錦二丁目の道 (みち) を庭 (にわ) に見立てて SDGs が描く未来の暮らしを体感できる「みちにわ SDGs マルシェ」を昨年の約 2 倍の規模に拡大して開催しました。



<人づくりプロジェクト>

SDGs 謎解きラリー in 伏見～ 2030 年からの挑戦状～

2021 年 6 月 26 日 (土)～7 月 20 日 (火)

261 名参加 【会場】 錦二丁目、伏見エリア

錦二丁目と伏見エリアの SDGs フィールド(エコパルなごや、ソレイユプラザなごや、消費生活センター、名古屋市科学館、でんきの科学館)を周遊し、SDGs を学ぶ謎解きイベントを実施しました。



なごや SDGs モバイルスタンプラリー

2021 年 8 月 1 日 (日) ～ 8 月 31 日 (火)

4,645 名参加

【会場】 名古屋市内を中心とした SDGs フィールド

SDGs を学ぶことができる施設として名古屋市内外で展開している「SDGs フィールド」を、スマートフォンやタブレットを用いてスタンプラリーをしながら周遊する「なごや SDGs モバイルスタンプラリー」を実施しました。



SDGs 未来創造クラブシンポジウム 持続可能なまちの実現に向けて

2022 年 2 月 25 日 (金) 110 名参加 【会場】 オンライン

●共催：錦二丁目まちづくり協議会

【講師】 「なごや環境大学」学長 涌井 史郎氏

SDGs 未来創造クラブの 2 年間の活動報告を行うとともに、持続可能なまち なごやの実現に向けて考えるシンポジウムを開催しました。



全体総括 2021 年度の総括

【2021 年度活動方針】

- 時流を捉え、未来志向の共創につながる機会を作り出すような事業を展開します。
- なごや環境大学のこれまでの多様なつながりを活かしつつ、2030 年の SDGs 達成に貢献できるように求心力を高めていく手法を検討、実施します。
- 新型コロナウイルスにより、社会活動を停滞させることなく、感染拡大防止等の変化に対応しながら、積極的に活動する団体や活動を支援します。
- 2021 年に中間年を迎える第 4 期ビジョンの達成度と今後の方向性について確認、検討します。

【第 4 期ビジョン重点目標】

- 1 「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」を提供します。
- 2 人材・組織のデータベース、双方向コミュニケーションを可能にする情報媒体を活用し、多様な主体が情報等資源を持ち寄り、意見を出し合う場をつくりまします。
- 3 協働による社会実験など、多様な主体に行動する機会や場を提供します。
- 4 持続可能な都市を担う「次世代育成」のために、ユースを対象にした事業の充実を図ります。
- 5 目標達成のための定量的（定性的）な評価指標と評価方法を導入します。
- 6 なごや環境大学がより発展するために、外部資金導入も図り、新たな事業展開をめざします。
- 7 なごや環境大学のブランディングを図ります。

1 「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」を提供します。

- ・主催講座・主催事業の企画・実施（主催事業：「なごや環境大学 SDGs オンラインセミナー」。「なごや環境大学 YouTu 部」。「SDGs に向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング」。共催事業：「環境白書から SDGs 実践へ 地域が輝くローカル SDGs ～参画への処方箋～」環境省、EPO 中部）
- ・SDGs など最新の環境情報を取り入れた「なごや環境ハンドブック」は、ダウンロード可能なワークシートにより活用を促す工夫を行った。また、これをテキストとした講座及び 2050 年のなごやの未来像を考えるワークショップを実施した。

2 人材・組織のデータベース、双方向コミュニケーションを可能にする情報媒体を活用し、多様な主体が情報資源等を持ち寄り、意見を出し合う場をつくりまします。

- ・求める情報を直感的に入手することができるようウェブサイトのリニューアルを行った。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、新型コロナ対策の指針を提示し、オンライン開催の経費負担金対象等でも対応し、運営面のサポートの充実を図った。

3 協働による社会実験など、多様な主体に行動する機会や場を提供します。

- ・SDGs 未来創造クラブまちづくりプロジェクトにおいて、錦二丁目モデルエリアに「錦二丁目 SDGs WE E K S」を開催し、SDGs 達成に向けた事業展開を検討するワークショップを実施し、地域課題の解決に向けたシナジー事業として「みちにわ SDGs マルシェ」を開催した。

4 持続可能な都市を担う「次世代育成」のために、ユースを対象にした事業の充実を図ります。

- ・連携協定に基づき愛知学院大学にて、環境に関わる法律を運用する行政・企業等の取組・課題に関する講義「環境と法」を実施し、産官学各立場の資源を持ち寄り、連携を深めた。また、愛知淑徳大学ビジネス学部では「ビジネスプランニング入門」講座にて、SDGs をテーマに若者が参加しやすい講座の企画づくりを行った。
- ・昭和区役所と連携して企画した、若者の視点をまちづくりに活かす「昭和区まちづくりプロジェクト」を対象の公園にて実施した。
- ・ガイドブックをより多くの若者にも手にと

てもらえるよう、学生や若手デザイナーを対象に表紙デザインコンペティションを継続して実施し、入賞者の表彰式及び表紙デザイン展を実施した。

5 目標達成のための定量的（定性的）な評価指標と評価方法を導入します。

- ・なごや環境大学の評価指標、評価方法、達成目標は引き続き議論が必要である。

6 なごや環境大学がより発展するために、外部資金導入も図り、新たな事業展開をめざします。

- ・名古屋市が内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されたことから、国の予算を受け新たに設置した「SDGs 未来創造クラブ」事業は終了したが、引き続き SDGs を展開する活動に取り組んでいく。

7 なごや環境大学のブランディングを図ります。

- ・ブランディングのためのアクションに関する具体的な取り組みとして、著名人による講座の開設や、「なごや環境大学共育ゼミナール調査・研究報告書」の各図書館への配架を行い、なごや環境大学の知名度向上に努めた。

企画チーム報告 2021 年度の総括

【2021 年度活動方針】＜以下、すべての方針、事業において SDGs を念頭に置く＞

- コロナ禍の経験を踏まえ、対面とオンラインの効果的な講座設計で、多様な主体に行動する機会と参加する機会を提供します。
- 持続可能な社会づくりのために、ひとりひとりが暮らしの中で実行できる活動や、SDGs 達成の参画者としてのライフスタイル、ワークスタイルなどについての情報提供・実践方法の普及啓発を行います。

1 SDGs や時事に即したテーマでの主催事業の企画・運営

- ・SDGs をテーマとした企業向けオンラインセミナー（全 9 回）を実施。企業として取り組める SDGs の事例や、活用によって広がる可能性について多角的な視点で取り上げた。
- ・動画を活用し、ユースや環境ビギナー層に向けた環境活動、環境配慮行動が進む機会を創出するため、『なごや環境大学 YouTu 部』を開設。ユース層をメインターゲットとし、名古屋近郊の自然環境や環境トピックを取材しながら、環境の視点や動画編集を学び、Youtube チャンネルを通じた情報発信を行った。

2 SDGs 達成に向けた、他自治体や企業、市民団体等との連携の強化

- ・環境省中部地方環境事務所、EPO 中部と共催で『環境白書から SDGs 実践へ 地域が輝くローカル SDGs ～参画への処方箋～』を実施。

金融庁を事例発表のゲストとして招くなど新たなつながりを創出し、多くの金融機関（信用金庫）職員の方々に受講いただくなど、新規層の開拓を行った。

- ・2020 年度に行った「SDGs にむけての協働型のしくみづくり自治体ミーティング」に引き続き、有志自治体で戦略会議を 1 月に実施。積極的に取り組んでいる自治体（大府市、滋賀県）の事例を聞き、参加した自治体間で現状・課題を共有し、連携を強めた。
- ・企業連携を通じた SDGs の普及啓発として「アップサイクル・デザイン・ワークショップ＋トーク」を開催した。
- ・大学連携協定に基づき、愛知学院大学の法学部学生を対象とした環境に関わる法律を運用する行政・企業等の取組・課題に関する講義を実施し、産官学それぞれの立場の資源を持ち寄り、連携を深めた。
- ・大学連携協定に基づき、愛知淑徳大学ビジネス学部で「ビジネスプランニング入門」講座

◇重点取り組み事項◇

- 1 SDGs や時事に即したテーマでの主催事業の企画・運営
- 2 SDGs 達成に向けた、他自治体や企業、市民団体等との連携の強化
- 3 新しいハンドブックの活用

にて、SDGs をテーマに若者が参加しやすい講座の企画づくりを実施し行った。

- ・昭和区役所と連携し、住むあるいは通学する等で昭和区に関わる学生やまちづくりに興味のある学生（名古屋国際高校、南山大学、中京大学、名古屋市立大学、愛知学院大学等）たちを中心に昭和区の公園の特徴を生かした使い方・あり方について考え、伝える、まちづくりと絡めてイベントを企画し、実施した。

3 新しいハンドブックの活用

- ・SDGs など最新の環境情報を取り入れた情報発信の役割を担うハンドブックの冊子を作成し、ワークシートはウェブサイトからもダウンロードできるようにして活用を促した。また、これをテキストとして国際的な環境課題から名古屋の身近な環境課題をテーマに全 3 回の連続講座を行い、2050 年のなごやの未来像を考えるワークショップを実施した。



人の環・広報チーム報告 2021 年度の総括

【2021 年度活動方針】

- 共育講座・共育ゼミナールの充実を図る。
- 共育講座・共育ゼミナール団体の交流（情報共有・情報交換）を促進する。
- なごや環境大学の存在と活動内容をより多くの人に知ってもらうための広報の実施。
- 話題づくり・情報提供によりパブリシティを活用した発信性の強化を図る。

◇重点取り組み事項◇

- 1 安心・安全な共育講座・共育ゼミナールの運営
- 2 共育講座企画者との意見交換会の実施
- 3 ウェブサイトのリニューアル
- 4 新規層（デザインコンペの若者やフレッシュ団体）を得るための認知活動
- 5 適時、適切で魅力的な情報発信

1 安心・安全な共育講座・共育ゼミナールの運営

- ・新型コロナウイルス感染予防対策について、新型コロナ対策の指針を提示し、オンライン開催の経費負担金対象等でも対応し、運営面のサポートの充実を図った。

2 共育講座企画者との意見交換会の実施

- ・6/15 共育ゼミナール報告会を実施。コロナ禍のためリアルとオンライン上のハイブリットで開催。YouTubeでのライブ配信も行った。
- ・10/2、10/6「共育講座紹介動画の活用」「企画団体の悩み事相談」の2軸での交流会を実施し、2日に分けて、オンラインにて意見交換を行った。動画についての一部意見は即時反映した。

3 ウェブサイトのリニューアル

- ・2020年度から、事前ヒアリング等での問題点やサイト訪問者の目的を整理・共有しながらコンセプトシート作成し、「共育講座」と「お知らせ」以外の活動をより見えやすくする等てなごや環境大学の目的啓発と共感醸成がで

きるよう、デザイン設計・ナビゲーションを一新した。また、欲しい情報にたどり着きやすくなるようにアクセシビリティ、設計・管理、システム設計を見直し、3/1から運用を開始した。

4 新規層（デザインコンペの若者やフレッシュ団体）を得るための認知活動

- ・2021年度前期「SDGs×暮らし」、2021年度後期「SDGs×水」とテーマ枠を設定し、フレッシュ団体やテーマに即した企画の募集を行った。
- ・フレッシュ枠募集に向けたリーフレットを、現行の企画団体を通じて配布した。また、リーフレットはホームページに掲載している。
- ・10/9に「SDGs×暮らし」をテーマに新規層を対象として「映画「からむしのこえ」から考える暮らしのカタチ 映画会&トーク」を実施した。
- ・半期ごとに共育講座やプロジェクトの紹介をする「なごや環境大学ガイドブック」を、大学の講義において、特に若者層に対して積極的に配布した。

- ・9月と3月の「なごや環境大学ガイドブック」の発行時に、2021年度前期「SDGs×暮らし」、2021年度後期「SDGs×水」のテーマにあわせた若者を対象とした「表紙デザインコンペティション」を実施した。
- ・2022年前期ガイドブックの発行時期にあわせ、3/18～3/20に「What's NKD なごや環境大学ガイドブック表紙デザイン展」を開催し、受賞者の表彰式を実施した。デザイン展では、なごや環境大学の活動を紹介する展示も行った。

5 適時、適切で魅力的な情報発信

- ・コロナ禍により行き控えている受講者予備軍に向けて動画でPRする事業を展開した。作成した動画は講座企画団体にも提供し、講座PRに活用してもらっている。
- ・ホームページのブログやフェイスブック等SNSを活用した。
- ・なごや環境大学に関係する団体のデータベース「エコパートナーズデータベース」のチラシを作成し周知した。

SDGs 未来創造クラブ報告 2021 年度の総括

【事業背景と目的】

- 名古屋市が「SDGs 未来都市」として先導的に進めていくため、なごや環境大学に「SDGs 未来創造クラブ」を設置し、2つのプロジェクトを展開することで経済・社会・環境が調和した持続可能な社会の実現に貢献するとともに新たな人づくり・人の輪づくりに活かす機会としていく。

◇重点取り組み事項◇

- 1 まちづくりプロジェクト
- 2 人づくりプロジェクト
- 3 広報

1 まちづくりプロジェクト

- ・6月9日にオンラインセミナー「SDGsでえがく まちと企業の未来」を開催。企業がSDGsに取り組むことのメリットや錦二丁目にある会社に取り組むSDGsのプロジェクト（オーガビッツ）を紹介いただいた。
- ・11月6日から20日に錦二丁目を舞台に地域・企業・団体が連携してSDGsに関する多彩なプログラムを展開する「錦2丁目SDGs WEEKS」を開催した。ハローワーク、EPO中部など錦二丁目にある団体や地域店舗・企業などと連携し、セミナーやワークショップ、展示など約20のSDGsに関するプログラムを展開した。
- ・11月19日、20日に地域課題の解決に向けたショーケース事業として、錦二丁目の道（みち）を庭（にわ）に見立ててSDGsが描く未来の暮らしを体感できる「みちにわSDGs マルシェ」を昨年度に引き続き開催した。
- ・昨年度ワークショップで寄せられたアイデア等を踏まえ、地域やなごや環境大学と協働して取り組む「SDGsまちづくり協働事業」を実施し、地域で栽培した綿花を使った糸紬ぎのワークショップ・展示など10事業を選定、

マルシェやSDGs WEEKsと連携して実施した。

- ・2月にSDGsまちづくりの一環として歩行者等の利便に資する休憩施設「緑のベンチ」をグリーンインフラの一つとして設置した。

2 人づくりプロジェクト

- ・令和2年度に開設したウェブサイト「なごやSDGs 街」を、より深い学びにつなげるコンテンツとするため、一部改修を行った。
- ・「なごやSDGs 街」を活用した授業案を作成した。
- ・企業等のSDGsに関する取り組みを動画で学ぶ「SDGs チューブ」を6本追加制作するとともに、企業や団体が制作したSDGsにかかる動画をYouTubeチャンネルに4本掲載した。
- ・SDGsについて学べる施設である「SDGs フィールド」を、新たに11施設拡大するとともに、フィールドでSDGsについて学ぶワークシートを8施設作成した。
- ・6月26日～7月20日に錦二丁目とSDGs フィールド（一部）でSDGsをテーマにした謎解きイベントを開催した（R2から延期）。

- ・8月1日～31日に子どもたちの夏休み期間に、「SDGs フィールド」をスマートフォン等を用いてスタンプラリーをしながら周遊することで学びを深めてもらう「なごやSDGs モバイルスタンプラリー」を開催した。
- ・小学4～6年生の「冬の生活」に加え、新たに「夏の生活」に、SDGsに関するページを掲載した。
- ・SDGs かるた・SDGs すごろくを、それぞれ26団体へ貸し出しを行った。

3 広報

- ・SDGsの趣旨及び各ゴールが示す目標と名古屋市の取組内容についてまとめた啓発冊子「SDGsってなに？」を増刷し、SDGs フィールドとなっている施設への配付を行った。
- ・2月25日にまちづくりと人づくりの両プロジェクトの2年間の取組報告等を行うシンポジウムを開催し、「SDGs 未来都市なごや」として、持続可能なまちの実現に向けた様々な角度からの取り組みに向けた検討などを行った。

ユースクラブ報告 2021 年度の総括

【2021 年度活動方針】

- SDGs をきっかけに、原点回帰。次の 2 つの領域で、「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える協働を通じた次世代育成を図ります。

◇重点取り組み事項◇

- 1 新人の発掘「ユースが自発的に関心を持ち、探求できる手法を検討、実施します。」
- 2 インキュベーション「ユースが取り組んでいる環境活動の継続性を高める仕組み作りや支援を強化します。」

【重点取り組み事項】

- 1 新人の発掘「ユースが自発的に関心を持ち、探求できる手法を検討、実施します。」
 - ・愛知淑徳大学との連携により、ビジネス学部の学生に SDG s に関する講座の立案をテーマとする授業を実施し、学生が SDG s について考え、自分たちが関心を持つ事から他者の若者に発信するアイデアをパワーポイントにて形にした。これらの成果をもとに、若者の環境問題に対する関心や活動への導入手

法を検討し、ユース世代への広がりを目指していく。

- ・前年度に昭和区役所と連携して企画立案した、若者による区内の公園の利活用方法に関する「昭和区まちづくりプロジェクト」を対象の公園にて実行した。自ら企画した計画を実現にまで至る取り組みを進め、次世代育成を図ることができた。

いる環境活動の継続性を高める仕組み作りや支援を強化します。」

- ・環境活動に積極的に取り組んでいる名古屋国際中学・高校の SDG s 未来倶楽部 Sus-Teen! に、なごや環境大学のネットワークを通じて、生徒達が地域との繋がりや森林保全の取り組みなどを体験する機会を提供した。高校生が様々な環境活動を経験することで継続性を高め、次世代育成に繋がるよう実施できた。

2 インキュベーション「ユースが取り組んで

森林プロジェクト報告 2021 年度の総括

【2021 年度活動方針】

- 「なごや環境大学」において、森林環境譲与税の活用を通じて、市民への普及啓発や人材育成等、森林整備の促進に向けた取り組みを実施し、グリーンインフラの整備など、持続可能な社会づくりや新たな人づくり・人の輪づくりに活かす機会としていく。

◇重点取り組み事項◇

- 1 森林管理の現状把握と課題解決に向けた仕組みの検討
- 2 なごや環境大学の資源を活かしたコーディネートと継続・発展のためのネットワーク構築
- 3 モデル展開のための事業検証

1 森林管理の現状把握と課題解決に向けた仕組みの検討

- ・市内で森に関する活動に従事している団体と共に、森林保全に関心を持つ市民層を広げることを目的として、岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、この地方特有の「東海丘陵要素」植物に関する講座及び現地視察を開催した。また、第 2 回、3 回には生木によるグリーンウッドワーク体験、木材利用・森林のサイクルを形にした morinos の現地視察を行うスキルアップ講座を実施し、幅広いテーマにより理解を深めることができた。

2 なごや環境大学の資源を活かしたコーディネートと継続・発展のためのネットワーク構築

- ・なごや環境大学の共有講座企画団体が管理する御嵩町の森林をフィールドに、森林保全や木材の活用の取り組みを実地体験する講座を毎月実施し、年間を通して森林で活動する本格的体験講座を実施できた。
- ・市内に点在する緑地の魅力を発信し、若者の森への関心を広げるため、猪高緑地にて近隣の大学に通う学生を対象とした講座を実施し、池干しにも参加することで森・水・生きものについて実体験ができた。

- ・なごや環境大学のネットワークを生かし、「都市の中の自然を考える」近自然について、WEB 講演及び意見交換を行った。
- ・他の自治体（埼玉県、静岡県）と森林環境譲与税を活用した事業展開について情報交換し、新たなネットワークの構築を図った。

3 モデル展開のための事業検証と普及

- ・森林での活動の様子をガイドブックやなごや環境大学のウェブサイト（ブログ）にて情報発信し、新たな参画を生む環境づくりを継続実施した。

なごや環境大学の歩み 前史

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5 月：「脱レジ袋宣言」を発表 11 月：第 1 回エコ事業所の認定 藤前干潟がラムサール条約に登録	2002 年度	1 月 名古屋市長年頭記者会見で構想発表 3 月 基本構想検討委員会を発足
10 月：レジ袋削減に向けた市内共通還元制度 「エコクーびん」を開始（～平成 21 年 3 月）	2003 年度	10 月 基本構想を策定・公表 3 月 市民講座企画づくりワークショップを開催 4 月 実行委員会を発足 8 月 2005 年度共有講座公募
 プレゼンポジウム	2004 年度	11 月 プレシンポジウム「市民と行政の協働を考える」を開催 12 月 プレ講座「環境首都をめざしたまちづくり」を開講 2 月 共有講座企画運営団体（市民団体・企業）との交流を開催 「環境ハンドブック 2005」を発行 3 月 開講式&記念シンポジウムを開催
8 月：リユースカップ事業を開始 広小路夏まつり会場で打ち水を実施 2 月：京都議定書の発効 3 月：「なごやエコキッズ」213 園・ 「なごやスクール ISO」153 校を認定 「愛・地球博」開幕		



なごや環境大学の歩み

第1期・第2期

名古屋の環境動向

6月：環境デーなごや 2005「もういちど！大作戦」を実施
7月：愛・地球博ささしまサテライト会場ほか市内51箇所で行水を実施（～9月）
11月：EXPO エコマナーセンターがアスナル金山に開設

2005
年度

8月：なごや循環型社会・しみん提案会議発足
1月：中区栄において都心と郊外のCO₂濃度の比較表示を開始
2月：エコマナーサテライト開設（名古屋市環境学習センター／名古屋市リサイクル推進センター）
3月：「国際市長会議―都市と生物多様性―」（ブラジル・クリチバ）出席

2006
年度

6月：生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）誘致委員会設立
9月：なごや循環型社会・しみん提案会議が「しみん提案」発表
10月：緑区にて「レジ袋有料化促進モデル事業」開始
11月：IPCC 第4次評価報告書統合報告書の公表
3月：名古屋市バイオマスタウン構想を策定

2007
年度

5月：第4次一般廃棄物処理基本計画を策定
7月：第1回「脱温暖化2050 なごや戦略」策定検討会開催
9月：「第16回アジア太平洋環境会議」を開催
12月：化学繊維・人工皮革・ゴムを不燃ごみから可燃ごみへ区分変更「エコドライブマイスター認定制度」を開始
2月：「『ごみ非常事態宣言』10周年シンポジウム～ごみ減量のこれまで、これから～」開催
3月：「水の環境復活2050 なごや戦略」策定

2008
年度

4月：レジ袋有料化全市拡大
11月：「生物多様性自治体会議2009」開催
「低炭素都市2050 なごや戦略」策定
3月：「名古屋市版レッドリスト2010」公表
「生物多様性なごや戦略」策定

2009
年度

5月：URBIO2010（都市における生物多様性とデザイン国際会議）開催
10月：「カルタヘナ議定書第5回締約国会議（COP-MOP5）」開催
「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」開催
「生物多様性国際自治体会議」開催

2010
年度



交流フェアブース

なごや環境大学の歩み

4月 共育講座開始（2005年度 82講座・476回）
7月 シンポジウム2005「環境時代と大学・地域・市民」を開催
10月 まちづくりシンポジウム「次世代につなぐ環境首都をめざして」を開催
3月 なごや環境大学平成17年度活動報告会を開催

4月 共育講座開始（2006年度 110講座・574回）
9月 環境デーなごや「なごや環境大学のひろば」開催開始
10月 「上流・下流のつながり」を開催
2月 「地球温暖化の真実」を開催

4月 なごや環境大学学生チーム「エコネクスなごや」発足
共育講座開始（2007年度 133講座・616回）
10月 東山新池かいぼりプロジェクト（なごや環境学・番外編）「1021新池かいぼり大作戦」を開催（21日）
11月 なごや環境大学「第2期ビジョン」を策定
2月 環境ハンドブック改訂版「なごや環境ハンドブック」発行
3月 2008愛知環境賞「中日新聞社賞」受賞
「あいちモリコロ基金」（2008年度大規模活動）助成決定

4月 共育講座開始（2008年度 138講座・567回）
5月 「しみん提案」の実現を目指す「循環型社会推進チーム」発足
9月 エコアジア2008（プレCOP10）開催記念環境シンポジウム開催
12月 エコネクスなごやが全国大学生環境活動コンテスト（エココン2008）「グランプリ・環境大臣賞」受賞
3月 「あいちモリコロ基金」（平成21年度大規模活動）助成決定

4月 共育講座開始（2009年度 152講座・674回）
6月 「地方の元気再生事業」採択
8月 「藤原紀香『Smile Please!』」トークショー＆写真展開催
9月 環境デーなごや「生物多様性パーク」開催
1月 「エコシティ・サミット～市民はいかに動いたか～」開催

共育講座開始（2010年度 173講座・727回）
4月 中日新聞社共催「ビバちぎゅうきょうしつ」第1回「生命を育む海」開催
5月 生物多様性連携プロジェクト発足
9月 「生物多様性屋台村 いのちの恵みを『いただきます～す』」出展
10月 「生物多様性交流フェア」出展
2月 「生物多様性あふれるまち・なごやに100人ワークショップ～COP10から始めよう～」開催
3月 「南極料理人西村淳さんによる“究極のエコライフ”」開催

なごや環境大学の歩み

第2期・第3期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
4月：プラスチック製品を不燃ごみから可燃ごみへ区分変更 9月：市役所などに電気自動車を導入 「なごや生物多様性センター」を設立 「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合が2014年に愛知県名古屋市で開催されることが決定  なごや環境学 2011	2011年度	4月 共育講座開始（2011年度 161講座・663回） 5月 地球環境学第1回公開講座「映画『THE AGE OF STUPID』上映会＋トークライブ」開催 9月 環境デーなごや「つくる・育てる・楽しむプロジェクト」として衣食住をテーマとした3ブースを出展 10月 名古屋市教育委員会共催「環境未来探検隊」体験活動開催 「COP10 1周年記念シンポジウム～都市インフラとしての自然を考える～」開催 11月 東日本大震災を受け、防災関連講座 「なごや環境学 2011～リスク管理とまちづくり～」を開催 12月 なごや環境大学「第3期ビジョン」を策定 「Winter Concert 2011～宇宙からみた地球環境、森林の大切さを感じる音楽会～」開催 3月 「新しい公共支援事業基金」（2012年度活動）助成決定
5月：ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立 7月：「名古屋市集団回収における古紙の持ち去り防止に関する条例」施行 10月：バイオディーゼル燃料化モデル事業を全市で実施	2012年度	4月 特定の環境テーマで、調査・研究・社会実験等を行う 「共育ゼミナール」を開始（4団体） 共育講座・ゼミナール開始（2012年度 164講座・601回） 9月 環境デーなごや 2012 中央行事で名古屋市と協力し、「持続発展共育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向けた特別企画を開催
4月：リサイクル推進センター閉館に伴い、環境学習センターにおいて一部機能継承 1月：ESD イヤーキックオフイベント開催 2月：小型家電リサイクル開始	2013年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2013年度 149講座・568回） 5月 子どもたちが主役のESDワークショップ 「命大切にされる未来を創るんだ」開催（5～11月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2013 中央行事」に参画 12月 「Winter Concert 2013～愛と音楽は未来への懸け橋を創る～」開催
6月：「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」開催 11月：「ESD シンポジウム」開催 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催 2月：「低炭素モデル地区事業」2地区を認定  10周年記念シンポジウム	2014年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2014年度 165講座・591回） 5月 いのちつながるESDワークショップ2014開催（5～9月・全5回） 6月 「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」に参画 9月 「環境デーなごや 2014 中央行事」に参画 11月 「ESD ユネスコ世界会議併催イベント」に参画 3月 10周年事業 オープンキャンパス！開催 「リソースマッチングプレゼン大会」開催
5月：第二処分場の開設 12月：国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」を採択 3月：「なごや環境学習プラン」策定 第5次一般廃棄物処理基本計画策定	2015年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2015年度 159講座・574回） 8月 名古屋気温測定調査 2015 実施（市内 165 地点） 9月 「環境デーなごや 2015 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10周年記念コンサート with ブランタン管弦楽団「未来を創るチカラ～つながるエコひろがるハッピー～」開催 10周年記念シンポジウム「未来を創るチカラ一人とまち」開催 「協働型環境学習のしくみづくりに関する自治体ミーティング」開催
10月：スプレー缶類の排出方法を穴あけ不要に変更 災害廃棄物処理計画策定 11月：平成28年度水銀添加廃製品回収促進業務（環境省モデル事業）を実施  エコプロ 2016	2016年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2016年度 151講座・564回） 6月 「みんなで歩く ワクワクなごや」開催（6～12月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2016 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 持続可能な明日をめざすシンポジウム「いのちつながる街づくり担い手づくり」開催 12月 「エコプロ 2016～環境とエネルギーの未来展～」に参画 3月 「春のオープンカフェ at テレビ塔」開催



なごや環境大学の歩み

第3期・第4期

名古屋の環境動向

10月：蛍光管・水銀体温計等の拠点回収を開始
3月：「低炭素都市なごや戦略第2次実行計画」策定



オープンキャンパス

2017
年度

5月：名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」リニューアルオープン
2月：ごみ非常事態宣言から20年を記念した式典を開催



なごやのみらい Open Together !

2018
年度

7月：名古屋市が「SDGs 未来都市」に選定
1月：「未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレー キックオフイベント」～あいち・なごや生物多様性 EXPO～開催
3月：南陽工場を休止

2019
年度

6月：富田工場、北名古屋市で工場完成
9月：ウェブサイト上で、「おうちで環境デーなごや2020」実施



池上先生と学ぶ SDGs の現在

2020
年度

9月：第4次名古屋市環境基本計画を策定
1月：「なごや生物多様性センター 設立10周年記念シンポジウム」開催

2021
年度

なごや環境大学の歩み

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 共有講座・ゼミナール開始 (2017年度 147 講座・455 回) |
| 5月 | 第4期ビジョン策定 |
| 9月 | 「環境デーなごや 2017 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 |
| 11月 | 名古屋外国語大学との連携に関する協定書締結
「ウィンターコンサート 2017 ～音楽でつながろう！みんな地球市民～」開催 |
| 1月 | 「みんなで防災・減災を考え行動しよう！！～持続可能な社会づくりのために～」開催 |
| 2月 | |
| 3月 | 「オープンキャンパス at 名城公園 tonarino」開催 |
| 4月 | 共有講座・ゼミナール開始 (2018年度 177 講座・483 回) |
| 5月 | 愛知学院大学との連携協定締結 |
| 9月 | 「環境デーなごや 2018 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 |
| 10月 | 「なごやのジレンマ！名古屋市北エリアを例に考える持続可能なまち・人・仕事？いや生活！」開催 |
| 11月 | ユース主催講座「自然栽培を知ろう！～おいしいやさいはどんな味？～」開催 |
| 1月 | 豊かさを考える SDGs 映画会&トーク開催 |
| 2月 | ごみ非常事態宣言 20 周年記念イベント「なごやのみらい Open Together！」開催 |
| 4月 | 共有講座・ゼミナール開始 (2019年度 147 講座・525 回) |
| 7月 | 「お買い物から SDGs を知る！『環境白書から実践へ』」開催 |
| 8月 | 森イキ！デザインプロジェクト開始 |
| 9月 | 「環境デーなごや 2019 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 |
| 11月 | 「なごやの環境平成史」開催 (11 月～2 月・全 4 回) |
| 1月 | SDGs に向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング |
| 4月 | 共有講座・ゼミナール開始 (2020年度 134 講座・497 回) |
| 6月 | SDGs 未来創造クラブ まちづくり・人づくりプロジェクト開始 |
| 7月 | オンラインセミナー 生物多様性とサブカルチャーの世界
環境白書から実践へ 2020 ～SDGs17 の目標その先へ！～ |
| 10月 | SDGs オンラインセミナー 2030 年の先をみつめる人々 (10～2 月・全 10 回)
森イキ！デザインプロジェクト 2019 年度成果発表会 in 設楽町 |
| 1月 | SDGs に向けての協働型のしくみづくり自治体ミーティング 2020 |
| 11月 | 「みちにわ SDGs マルシェ」開催 |
| 12月 | ウェブサイト「なごや SDGs 街 (マーチ)」オープン |
| 3月 | 池上先生と学ぶ SDGs の現在 in なごや |
| 4月 | 共有講座・ゼミナール開始 (2021年度 122 講座・446 回) |
| 5月 | 企業向け SDGs オンラインセミナー「SDGs 実践企業から学ぶ」始動 (5～2 月・全 9 回)
森イキ！プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動 (5～3 月・全 9 回) |
| 7月 | 環境白書から SDGs 実践へ 2021 オンラインセミナー 地域が輝くローカル SDGs ～参画への処方～ |
| 10月 | YouTu 部 (仮) 始動 (10～3 月・全 7 回) |
| 11月 | 「みちにわ SDGs マルシェ」開催 |
| 1月 | 「SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくり自治体ミーティング 2021」実施 |
| 2月 | 「なごや環境大学 SDGs 未来創造クラブシンポジウム 持続可能なまちの実現に向けて」実施 |
| 3月 | なごや環境大学ウェブサイト リニューアルオープン
「What'sNKD ? なごや環境大学表紙デザイン展」開催 |



なごや環境大学協力者一覧

市民・市民団体

Eye Opener

愛知県昆虫食を考える会
 特定非営利活動法人 えこども
 一般社団法人 SDGs コミュニティ
 認定特定非営利活動法人恵那山みどりの会
 大曽根まちづくり会議
 かすがい里山自然楽校
 かすがい東部丘陵自然観察会
 川ナビ歩こう会
 環境カウンセラー 岡本明子
 環境ボランティアサークル 亀の子隊
 特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも
 劇団森のバレット
 国際生物多様性の10年 (UNDB)
 市民ネットワーク
 災害ボランティアちくさネットワーク
 CE 技術の会
 森林インストラクター会 “愛”
 地球エコ防衛隊
 地球ハグ倶楽部
 鶴舞公園研究会 (ツル研)
 手編み生涯学習ぐるーぷ&つながれっと・
 イーブル・リサイクル3R グループ
 特定非営利活動法人 東海自然学園
 特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター (CDIC)
 東谷山二ホンミツバチプロジェクト実行委員会
 なかがわ防災ボランティアネットワーク
 なごや外来種を考える会
 なごやの生き物調査の会
 なごや環境サポーターネットワーク
 なごや環境塾 どんぐりころころグループ
 名古屋工業大学 こきそ技術士会
 名古屋大学防災サークル 轍一わだちー
 なごやネイチャーゲームの会
 名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク
 名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会
 錦二丁目まちづくり協議会
 NPO 法人日進野菜塾
 公益社団法人日本技術士会中部本部・
 中部倫理委員会
 公益社団法人日本山岳会東海支部・
 猿投の森づくりの会
 日本野鳥の会愛知県支部
 乳幼児自然知育あそび ecocorokids
 ノートルモンド名古屋
 ビオトープ・ネットワーク中部
 NPO 法人藤前干潟を守る会
 特定非営利活動法人
 ヘルピングハンズアンドハーツジャパン
 防災自助普及委員会
 NPO 法人
 「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」
 NPO みのむしックス
 名東自然倶楽部
 特定非営利活動法人 MERRY PROJECT

モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)
 森のムッしあいち
 守山リス研究会
 山崎川グリーンマップ
 養生キッチンふうど
 よりあい工房ばんどり
 りとるらば
 レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム
 特定非営利活動法人レスキューストックヤード
 特定非営利活動法人わっぱの会

企業・事業者

一般社団法人愛知県建設業協会
 愛知県古紙協同組合
 愛知県再生資源団体連合会
 アクティオ株式会社 名古屋営業所
 岩間造園株式会社
 株式会社 エステム
 花王グループカスタマーマーケティング
 株式会社
 株式会社 加藤建設 自然環境課
 加山興業株式会社
 岐阜県立森林文化アカデミー
 株式会社熊谷組名古屋支店
 清水建設株式会社名古屋支店
 株式会社 大翻
 株式会社地域環境計画名古屋支社
 株式会社中日新聞社
 中部電力株式会社
 中部リサイクル株式会社
 東谷山フルーツパーク
 東邦ガス株式会社
 戸田川緑地管理センター
 戸田建設株式会社名古屋支店
 仲建設株式会社
 中日本高速道路株式会社 名古屋支社
 一般社団法人 名古屋建設業協会
 錦二丁目エリアマネジメント株式会社
 prana(プラーナ)
 みどりの風グループ 共同事業体代表者 (公財)
 名古屋市みどりの協会・
 名古屋市みどりが丘公園
 やまがたフットバス実行委員会
 株式会社山田組
 株式会社若鯨屋

北生涯学習センター
 西生涯学習センター
 中村生涯学習センター
 中生涯学習センター
 昭和生涯学習センター
 瑞穂生涯学習センター
 熱田生涯学習センター
 中川生涯学習センター
 港生涯学習センター
 南生涯学習センター
 守山生涯学習センター
 緑生涯学習センター
 名東生涯学習センター
 天白生涯学習センター
 名古屋市環境科学調査センター
 名古屋市環境学習センター (エコパルなごや)
 名古屋市環境局環境企画課
 名古屋市環境局減量推進室
 名古屋市環境局大気環境対策課
 名古屋市環境局地域環境対策課水質地盤係
 名古屋市環境局低酸素都市推進課
 名古屋市愛岐処分場
 名古屋市上下水道局 調査課
 水の歴史資料館
 名古屋市昭和区役所
 名古屋市立大学大学院経済学研究科
 (次世代エネルギーワークショップ推進委員会)

大学・行政・その他

愛知学院大学名城公園キャンパス
 地域連携センター
 愛知淑徳大学コミュニティ・
 コラボレーションセンター
 愛知教育大学
 環境省中部地方環境事務所
 イーブルなごや
 千種生涯学習センター
 東生涯学習センター